



応援します!! 東北! 陸前高田市!

～行政丸ごと支援～ ～市民交流～



1: 陸前高田市を支援する までの経緯

- 平成23年
3月11日 ● 東日本大震災発生
(震源地:三陸沖/規模:マグニチュード 9.0)
- 3月16日 ● 「名古屋市被災地域支援本部」の設置
- 3月19日
～31日 ● 先遣隊を岩手県沿岸部に
3回にわたり派遣
- 4月1日 ● 副市長をトップとする調査チームを
陸前高田市に派遣

1. 市街地は壊滅的な状況
2. 100名を超える市職員が死亡、行方不明
3. 市役所の行政機能がマヒ状態
4. 岩手県及び陸前高田市からの強い支援要請

4月7日
陸前高田市を全面支援
することを決定
(行政丸ごと支援)

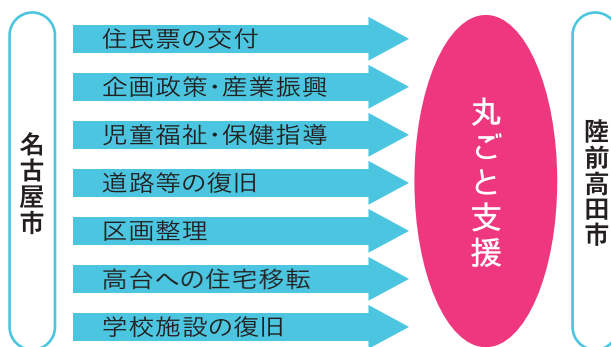
震源地に近い岩手県、
宮城県、福島県の沿岸部
では、想定以上の巨大津波
により、まちが破壊され、
甚大な被害を受けました。



被災直後の陸前高田市役所庁舎

2: 「行政丸ごと支援」とは

- 甚大な被害を受けた陸前高田市の行政全般を、名古屋市の持つ総合力によって“丸ごと支援”する「**全国初の取り組み**」です。
- 陸前高田市の復旧・復興の状況に併せて刻々と変化するニーズに対応して、業務に精通した職員を派遣しています。



平成23年度

住民票の交付、保健指導、罹災家屋の調査、
ごみの収集、災害対策本部の運営、震災
復興計画の策定など行政分野全般

平成24年度
～
令和7年度

区画整理、道路等の復旧、学校施設の
復旧、水道整備など、新たなまちづくりに
向けた行政分野



土地区画整理事業による高台の宅地整備

3: 職員派遣

※派遣職員数については、短期派遣も含みます。

※岩手県、岩手県宮古市、宮城県仙台市、気仙沼市にも職員を派遣し、復興支援を行いました。

平成23年度から令和7年度までに、陸前高田市へ延べ262名の職員を派遣

《陸前高田市への年度別派遣実績》

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
東日本大震災復興基本法による復興期間	集中復興期間					復興・創生期間					第2期復興・創生期間				
派遣人数	144名	16名	13名	11名	8名	11名	13名	12名	12名	12名	6名	1名	1名	1名	1名
行政分野全般（注）	●														
防災業務	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業労働業務		●	●	●	●	●	●	●	●	●					
復興計画策定・推進業務	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
道路等復旧業務		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
水道事業運営・整備業務	●	●					●	●	●	●					
学校建設業務など	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
税関係業務	●					●	●	●	●	●					
その他業務	●	●	●	●		●	●			●					

（注）住民票の交付、保健指導、罹災家屋の調査、ごみの収集など行政分野全般



陸前高田市役所仮庁舎
（コンテナハウスを利用）



被災した市役所で書類を探す職員



被災した書類の再生を行う職員



血圧測定と健康相談を行う職員



仮設店舗にて打ち合わせをする職員



水道整備関係業務に従事する職員



林道整備の現場に立会う職員



土地区画整理業務に従事する職員



司書業務に従事する職員



産業労働業務に従事する職員



防災関係業務に従事する職員



観光交流・振興業務に従事する職員

4: 陸前高田市の復興の経過

《被災前から現在の陸前高田市街地》

●被災前



被災前の市街地

●被災直後(平成23年)



被災直後の市街地



●平成26~27年



かさ上げされる市街地
(土砂運搬を加速させた巨大ベルトコンベア)

●現在



かさ上げされ、復興が進む市街地

《陸前高田市における主な復興・復旧施設》



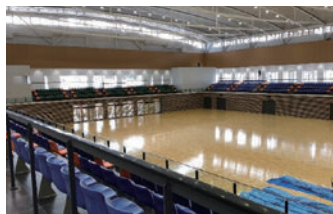
旧吉田家住宅主屋



市役所新庁舎



図書館



総合交流センター「夢アリーナたかた」



高田小学校



高田松原運動公園



東日本大震災津波伝承館



博物館

《生活再建の状況》



応急仮設住宅



災害公営住宅



住宅の高台移転

●陸前高田市における被災した市街地の復興土地区画整理事業では宅地の全ての引き渡しが完了しています。

●陸前高田市では2,168戸の応急仮設住宅が建設され、最大で2,139世帯(平成24年1月)、5,635人(平成23年9月)の方々が仮設住宅での生活を余儀なくされましたが、住宅の高台移転や災害公営住宅への入居などにより、令和3年3月をもって全ての被災者が新たな住まいに移り、仮設住宅が撤去されました。

5: 子どもたちの交流

「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」

- 不自由な環境で学校生活を送っており、修学旅行にも行くことが困難な陸前高田市の子どもたちを勇気づけたいという想いから、「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」を実施しました。
- 陸前高田市の中学生を名古屋市に2泊3日で招待しました。この事業は、全て名古屋市民や企業、陸前高田市を応援する方々からの寄附金やご協力により実現することができました。(本事業は、平成23～24年度実施)

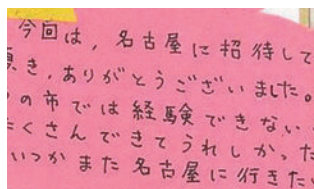
《陸前高田市中生による名古屋学習旅行》



就労体験



名古屋めし初体験



中学生からのメッセージ



被災した小友中学校

「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」記念銘板を設置

ご協力いただいた市民や企業の皆様に感謝の意を表すとともに、本市と陸前高田市の子どもたちの末永い交流を願い、子どもたちの交流が始まった場所である名古屋城に記念銘板を設置しました。

＜招待実績＞ 平成23年度 4校 280名／平成24年度 3校 140名

＜寄附金＞ 687件 32,176,920円

記念銘板除幕式
(平成25年8月3日実施)



名古屋市教育委員会・陸前高田市教育委員会が「絆協定」を締結

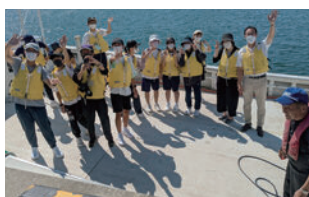
子どもたちの交流を末永く、より一層深めていくために、両市教育委員会は、平成24年5月2日に「絆協定」を締結しました。この協定に基づき、両市の中学生が互いに訪問しあう双方向の交流が行われています。

《名古屋市の中学生が陸前高田市を訪問》

- 平成24年度(試行) 市立10中学校 20名
- 平成25年度以降、継続して代表団を派遣



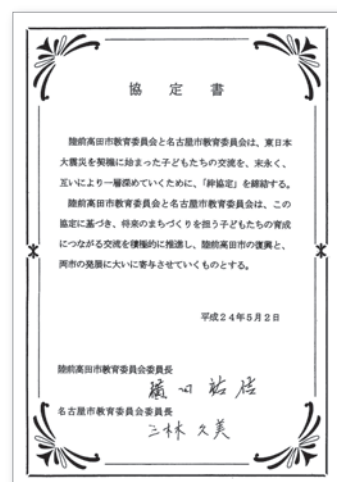
中学生同士の交流



産業体験



震災学習



絆協定書

《陸前高田市の中学生が名古屋市を訪問》

- 平成25年度以降、継続して代表団を受入れ



中学生同士の交流



職場体験(名古屋市立大学病院)



市長・正副議長表敬訪問



名古屋市民生徒による名古屋城内

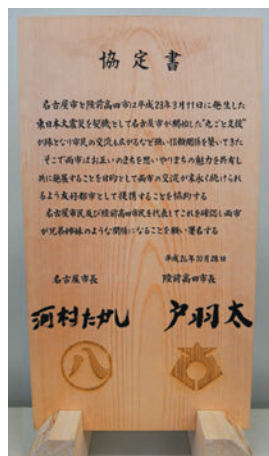
《絆交流への寄附(教育基金)》

今後も両市の交流を続け、互いの絆を強めていくため、絆交流事業の寄附を募っています。市民・団体の皆様からいただいた寄附金は、交流活動の充実のため活用しています。詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.city.nagoya.jp/zaisei/page/0000151225.html>



6：友好都市の協定

陸前高田市と国内初となる友好都市の協定を締結



被災した陸前高田市の
高田松原の松で作った協定書

陸前高田市への“行政丸ごと支援”を
きっかけに広がった両市の交流を末永く
続けられるよう、平成26年10月28日、友好
都市の協定を締結しました。

陸前高田市と防災、観光、文化や産業など
様々な分野で末永く交流を続けていきます。



友好都市の協定締結式

7：陸前高田市との交流

●防災交流



消防・防災フェスタでの交流

●文化交流



陸前高田市の生徒への吹奏楽クリニック

●「奇跡の一本松」後継樹の植樹



植樹記念式典

●市民美術展等での相互展示



名古屋市民美術展の優秀作品の展示
(陸前高田市市民芸術祭)

●イベントでの郷土芸能の相互披露



陸前高田市「赤磯太鼓-ARATA-」の演舞
(名古屋まつり)

●名古屋市及び陸前高田市市民交流事業補助制度



名古屋市団体(演奏集団「まつり座」)と陸前高田市民との交流
(陸前高田市うごく七夕まつり)

8: 産業交流

産業支援から産業交流へ

平成23年度に「陸前高田産業支援デスク」を設置し、陸前高田産品の販路開拓を図るなど、現地企業を支援してまいりました。現在は両市の事業者等による交流を推進しています。

- 名古屋まつりなど本市で開催されるイベントに陸前高田市の産品をPRするブースを出展するなどし、販路拡大に協力するとともに、陸前高田市で毎年開催される「産業まつり」になごやめしを提供するブースなどを出展しています。
- 陸前高田市の産品と名古屋市事業者とのマッチングによって生まれた商品を販売するなどして、両市の産業交流を図っています。



名古屋市内のイベントへの出展の様子



名古屋ご当地グルメを味わうイベントの様子

東北の産品を購入していただくことも支援につながりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

9: 医療支援

名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠の設置

陸前高田市の地域医療を支援するため、名古屋市立大学看護学部陸前高田市出身者を対象とした特別枠を設置し、看護人材の育成を図りました。

- 期 間：平成25年度～平成29年度入試の5年間
- 卒業生：10名



高台に再建された岩手県立高田病院

平成30年度
卒業生の声

私が名古屋市立大学を卒業し看護師になってから3年が経とうとしています。まだまだ未熟ものですが、今日まで看護師として仕事ができているのは身近な方々のサポートだけでなく、遠い名古屋の地から継続的に支えてくださっている皆様のおかげです。このような温かい支援のもとで看護師になれたことを誇りに思います。これからもより地元の陸前高田市に貢献できるような看護師になりたいです。そして少しでも多くの人々の心を支えられるよう、日々精進していきたいと思います。

※令和4年時点

岩手県立大船渡病院勤務 松尾 風歌（平成31年3月 卒業生）



名古屋市は陸前高田市の一日も早い復興を願いつつ、これからも支援の取り組みを進めるとともに、被災地支援で得られた経験を本市の震災対策に反映し、防災力向上につなげてまいります。

また、陸前高田市の「奇跡の一本松」後継樹が令和3年3月に東山動植物園に植樹されたことを契機として、本市は毎年3月23日を陸前高田市との「絆の日」と定めました。

様々な取り組みを通じて両市の友好関係を広く周知し、交流を続けてまいりますので、今後とも市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



名古屋市の取り組みや、派遣職員が行っている活動については名古屋市公式ウェブサイトからご覧いただけます。

陸前高田市の概要

面積：231.94km²

人口：16,946名（令和7年5月現在）
24,246名（平成23年3月現在）

震災による人的被害の状況

死者数：1,606名（災害関連死を含む）

行方不明者数：201名

死者・行方不明者の合計：1,807名（総人口の7.5%）

出典：「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の被害状況（令和7年3月1日現在）」 総務省消防庁

お問合せ先

名古屋市被災地域支援本部事務局

TEL: 052-972-3584 FAX: 052-962-4030

（令和7年9月発行）